

地連だより

2018年7月/第5号 地域医療連携室発行

〒732-0057 広島市東区二葉の里3丁目1-36 URL: <http://www.jrhh.or.jp/>

地域医療連携室 TEL: 082-262-1581 FAX: 082-262-1253



優しさと誠実な医療で 更なる地域貢献をめざします

今年より患者さまのQOL(Quality of life)に配慮した甲状腺手術に 術中神経モニタリング装置(NIM-Response3.0)を導入しました！

平素は、患者さまをご紹介いただき、誠にありがとうございます。
本年1月より、甲状腺手術に術中神経モニタリング装置(NIM-Response3.0)を導入致しましたので、ご案内させていただきます。

当院の甲状腺手術における信条としては、根治性を高めることは、当然のことではありますが、**患者さんのQOL (Quality of life) に配慮した手術を行うことを心がけています。**術中の反回神経損傷による反回神経麻痺は、嚔声や嚥下障害により、患者さまに日常生活の不自由を感じさせることとなります。術中に反回神経を確実に同定・確認して、温存することが肝要です。しかし、甲状腺外科医が細心の注意を行っても、巨大腫瘍や神経浸潤を伴う高度進行癌では、神経損傷を生じたり、神経温存が難しい場合があります。

また、上喉頭神経外枝は、輪状甲状筋を支配し、高音や大声の発声には重要ですが、非常に細い神経であり、発声自体には影響しないことより、あまり重要視されない神経でした。以前より、当院では、上喉頭神経外枝の温存にも取り組んでまいりましたが、下喉頭収縮筋内を走行する場合もあり、確実な温存の評価は困難でした。

NIM-Response3.0は、神経に低電気刺激を行い、声帯に達した誘発電位を気管内チューブに装着した電極部で拾いあげ、モニタリングを行います。

NIM-Response3.0の導入することにより、反回神経のみでなく上喉頭神経外枝の確実な温存の評価も可能となりました。

現在、広島市内で、甲状腺手術にルーチンで、術中神経モニタリング装置(NIM-Response3.0)を用いているのは、**当院だけ**と思われます。

引き続き、当院では根治性とQOLに配慮した甲状腺手術に取り組んで参ります。患者さまのご紹介をよろしくお願ひ致します。

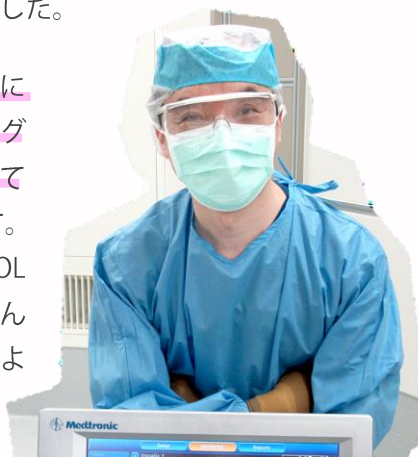


外科 部長
やの まさつぐ
矢野 将嗣

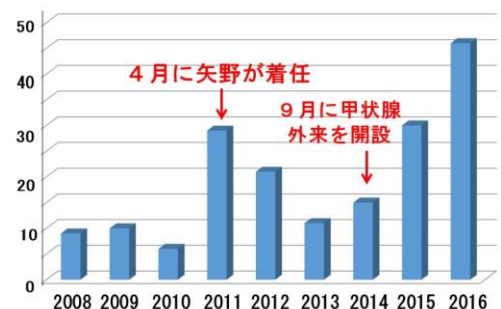
消化器 内分泌甲状腺
内視鏡外科

日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、内分泌・甲状腺外科専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本透析療法学会専門医、日本肝臓病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、消化器がん外科治療認定医、日本静脈経腸栄養学会TNT講師、日本静脈経腸栄養学会評議員、PDNセミナー講師、緩和ケア研修会修了

- 内分泌甲状腺外科専門医として、甲状腺疾患一般(専門外来)、甲状腺癌手術、甲状腺機能亢進症や橋本病の内服治療を行っています。
- 消化器外科医として、消化器科一般(外来)、腹腔鏡下胆嚢摘出手術、単孔式手術を行っています。
- 院内の栄養サポートチームも主導しています。臨床栄養(栄養障害)についても、御相談ください。



当院の甲状腺手術件数の推移



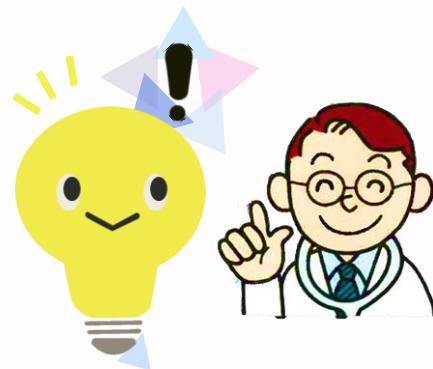
第 60 回 J R 広島病院オープンカンファレンスを開催します！

当院では医療従事者の方を対象とした研修会を定期的を実施しております。

今回は広島大学病院 リウマチ・膠原病科教授の杉山 英二 先生をお招きし、「関節リウマチにおける最近の進歩」と題し講演をして頂きます。

杉山先生は長年行っておられる臨床はさることながら、海外留学を通じて多岐に渡る研究に取り組みられていらっしゃいます。このたびのテーマである「最近の進歩」とあるように、先生のご経験をもとに、リウマチ治療の変化についてお話頂けることと思います。

医療関係職種の方であれば参加資格は問いません。 皆さまこの貴重な機会にぜひご参加くださいませ。



日 時：平成 30 年 9 月 5 日 (水) 19 時～20 時半

場 所：J R 広島病院 3 階大会議室

申込方法：専用 FAX でのお申込 ※当院ホームページの[お知らせ]、または[医療関係者の方々へ]バナーより[当院開催の研修会]をご覧ください。

お問合せ：地域医療連携室 TEL ☎：082-262-1581 / FAX 📠：082-262-1253

『リウマチまるわかり わくわくセミナー』を開催します！

当院の病診連携施設様を対象としたセミナーです。

リウマチ診療について、医師・看護師・薬剤師の視点から当院スタッフが講演する予定です。ご興味のあるスタッフの皆さま、お問合せの上ぜひご参加くださいませ。

※こちらのセミナーは、**医療関係者のみ**が対象となります。ご了承くださいませ。

日 時：平成 30 年 8 月 2 日(木) 19 時～20 時半

場 所：J R 広島病院 3 階大会議室

主 催：J R 広島病院 リウマチ・膠原病科 医長 舟木 将雅

申込方法：J R 広島病院 1 階 B ブロック内科外来へお問い合わせください。

T E L：082-262-1172(内科外来)

第 1 回地域連携パスの会(2018)を開催しました

6 月 21 日、平成 30 年度第一回大腿骨近位部骨折地域連携パスの会を開催いたしました。

1 年ぶりでしたが、連携施設様だけでなく多くの方々にご参加いただきありがとうございました。会のはじめには、整形外科の中村精吾医師より地域連携パスのご説明させていただきました。続いて各病院様と症例検討を行ったあと、当院古川薬剤師による「当院整形外科病棟における薬薬連携への取り組み」について講演させていただき、適切な抗菌剤の使用についての取り組み方法や薬剤師同士の情報ツールについてなど、活発なご意見ご質問いただきました。

大腿骨近位部骨折地域連携パスの会は、今年度、年 3 回の予定で開催する予定です。今後とも是非多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

地域医療をすすめる会を開催しました

2018 年 6 月 22 日に「第 23 回 J R 広島病院知己医療をすすめる会研修会」を開催しました。近隣の医療・介護施設から医師、看護師、介護士以外にも色々な職種の方の参加がありました。いつも研修会に参加してくださる方には大変感謝しています。今回は「職業感染予防を学び自分の健康を守ろう」をテーマに、最近の麻疹発生や麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B 型肝炎などの感染症に対するワクチン効果やワクチン接種の重要性などについてお話をさせていただきました。参加者からは「予防が大切であることがわかった」などご意見をいただきました。ありがとうございました。

次回の研修は 2018 年 10 月 26 日(金)18:30～
テーマは「高齢者のスキンケア」です。
多数のご参加お待ちしております。